第三軍団

全国全共闘第三軍団書記局
早大 中大 明大 青学大 慶大 駒大 武蔵大 女子美大
連絡先 TEL 992 9142 武蔵大新聞会

11・13-17 全都制圧・羽田占拠！

10・5 中核派大政治集会 於 三房公会堂 五:00〜

全国全共闘は、全ての学友諸君！今やエルエフ体制の根底的動揺は、より一層激化し、フランス切下げ、マルク切上げ、SDRの発動等々…。いかなる手段をもってしても、ドル危機を救済できないというまさに崩壊的な危機を迎えている。あらゆる意味で戦後世界体制の盟主として君臨してきたアメリカ帝国主義は、その矛盾の集約点であるアジアにおける支配と貫徹できないという局面にまで追いこまれている。アジア最大の核軍事基地としての沖縄の占める位置は、ますます重要性を増してきている。ギマニ的和平交渉を行っているベトナム侵略戦争の出撃基地、水爆を搭載したB52の偵察飛行基地としての役割の強化等々…。沖縄なくしてはアメ帝国主義のアジア支配を考えることはできない。沖縄の分離支配こそ、戦後世界支配体制の象徴なのだ。アジア唯一の帝国主義国である日本のブルジョア階級を代表する佐藤政治委員会は、沖縄の持つ意味を"72年返還"なるペテンにより隠ぺいしようとして策動している。数度たびたる愛知―ロジャーズ会談においても何ら具体的解決策を見出しえなかったにもかかわらず、"72年返還"なることばにより それをおおいかくそうと企んでいる。もはや敵権力は、何ら展望をもった政策を行うことはできず、唯一頼みの綱"機動隊の暴力によってしか、その延命をはかることはできないという政治的終エン段階を迎えている。10月非常体制とは、革命的左翼を先頭とする大学と沖縄を両輪としたあらゆる闘いを圧殺せんとする最高の弾圧形態なのだ。その闘争圧殺による沈黙の中でのみしか敵権力は支配を維持しえないのだ。"72年返還"なるペテンも日本人民の沈黙の中で"72年の時点で沖縄問題を検討するというものでしかない。敵権力の弾圧の壁を突破し、70年と70年代を希望と混乱のサクソウする矛盾ドトウの時代としてひらく11月決戦の突破口である10・21において、唯一われわれ全共闘第三軍団のみが闘争を爆発させ、勝利しえたということをはっきりと確認しなければならない。高田馬場駅占拠をはじめ、各所において、権力の支柱"機動隊を粉砕することができたのは、強固な軍団的規律をもった数々のみであった。10・21によってひらかれた11月決戦の突破口をさらに拡げつめ、次の決戦である11・13〜17全都制圧・羽田空港占拠の闘いに決起しようではないか。そして佐藤訪米を阻止し、そのペテンを暴露・粉砕しようではないか。沖縄奪還闘争として叫ばれる佐藤訪米阻止闘争に決起しようではないか。現地沖縄においては、沖縄県反戦青年委員会の結成、そして10・20死をも決意し、火炎ビンによって武装した英雄的5名によって敢行された嘉手納基地突入と米兵との対決により、沖縄百万県民のエネルギーはギリギリと高揚し、11・13全県ゼネストに向って爆発しようとしている。

全ての闘う学友諸君！

このまさに本土―沖縄一体となった闘争の爆発である11・13より始まる5日間の激動に総決起し、羽田空港を占拠し、ヘリコプターで空港に向かうという全く傷な姿をさらけ出した佐藤の訪米を阻止しようではないか。唯一勝利しうる環である軍団的規律をもった全国全共闘第三軍団にただちに加盟せよ！！